

製缶準備で失敗しないための確認ポイント

作る前の確認で、手直し・やり直しを防ぐ!

準備が甘いと、後で大きな手直しにつながる!

1 図面確認

- ・ 図面番号・改訂番号
- ・ 品名・材質・板厚・数量
- ・ 公差・溶接記号・基準寸法
- ・ 古い図面で作業しない



2 穴・タップ加工確認

- ・ 材料の時にやるのか、溶接後にやるのか確認する
- ・ 溶接で歪みが出るため、精度が必要な場合は溶接後に加工することがある



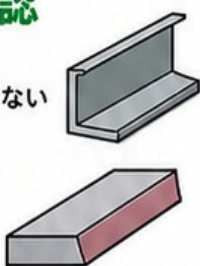
3 切り欠き・開先加工確認

【切り欠き】

- ・ ないと部材が当たる・乗っかる形になる・組めない
- ・ 向き・表裏・左右・寸法を確認する
- ・ 切る前に完成形をイメージする

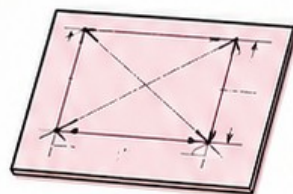
【開先】

- ・ 開先角度・深さ・向きを確認する
- ・ 間違えると、溶け込み不足・歪み増加・溶接不可の原因になる



4 原寸確認

- ・ 原寸が必要か確認する
- ・ 原寸を書く時は、寸法・対角・基準位置を確認する



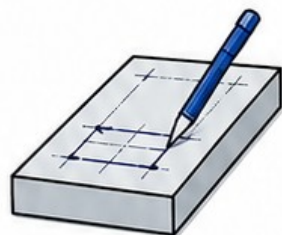
5 作業場所確認

- ・ どこで組むのか確認する
- ・ 定盤で組むのか
- ・ 鉄板で組むのか
- ・ 治具が必要か
- ・ 精度によって使い分ける



6 野書き確認

- ・ 材料に野書きを入れる
- ・ 寸法・基準・芯・加工位置などを確認する
- ・ 野書き後は寸法確認をする



7 タック溶接指示確認

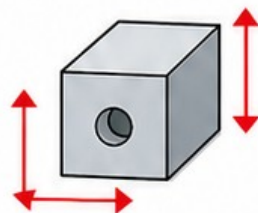
- ・ 図面にタック溶接・断続溶接指示がある場合は、溶接位置を野書く
- ・ 例: 50-100
- ・ 溶接長さ・ピッチ・開始位置・表裏・片側か両側かを確認する
- ・ 野書きなしで溶接しない

50-100



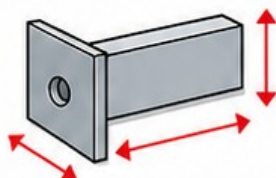
8 基準確認

- ・ どこを正で組むのか確認する
- ・ 内寸基準・外寸基準
- ・ 穴基準・面基準
- ・ 基準を間違えると全部ズれる



9 寸法確認

- ・ 寸法確認は、仮組み後、仮止め溶接前に行う
- ・ 溶接後に間違いが見つかったら、切断・歪取り・作り直しになる
- ・ 組んだ段階で確認する



10 次工程確認

- ・ 次工程があるか確認する
- ・ 機械加工・塗装・酸洗い
- ・ 組立・現地取付 など
- ・ どこに加工が入るのか確認する
- ・ 次工程で困らないように製缶する



11 安全確認

- ・ 作業前に安全確認をする
- ・ 保護具・換気・火気確認・周囲確認
- ・ グライNDER火花方向・ヒューム対策
- ・ 安全確認をしてから作業する



★ 製缶準備は、作る前にミスを潰す作業。
準備不足は、後で大きな手直しにつながる。